

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 33 号 2016 年 3 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2015 年度 日本分析化学会九州支部

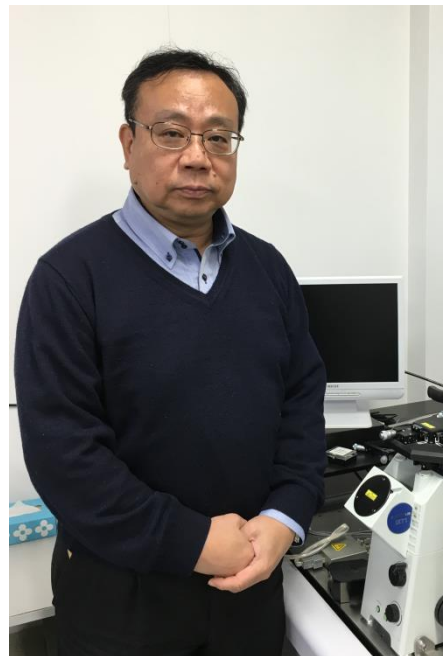
〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40

鹿児島大学大学院 理工学研究科 化学生命・化学工学専攻

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

平成 28 年度の九州支部長を務めさせていただきます九州工業大学の竹中繁織です。私は、昭和 61 年に九州大学大学院総合理工学科分子工学専攻の柘植乙彦（故人）の研究室を博士課程二年で中退し、同大学合成化学科の高木誠（故人）の研究室の助手として着任しました。その後、九州工業大学情報工学部への転任、また、九州大学合成化学科への転任を経て、九州工業大学応用化学科転任しました。現在は、九州工業大学大学院工学研究院物質工学研究系応用化学部門に在籍しています。学生時代は、ヘテロ芳香族環の合成に関する研究を行ってきました。高木研究室の助手に採用されてからバイオ分析に関する研究を行ってきました。とは言ってもヘテロ芳香族環の合成を行ってきたのでこれを活かして（これしかできないので）DNA に相互作用するインターカレータを利用した核酸分析法の開発を行ってきました。インターカレータから離れ、新たな研究を行いたいと思っておりますが、なかなか抜け出られない状況です。九州工業大学情報工学部に転任してからスタートした遺伝子の電気化学検出法は世界的に先駆けた研究となったと思っております。



さて、平成 28 年度は、九州支部が設立されてから 60 周年となります。そこで、11 月 18 日に分析化学会九州支部 60 周年記念行事を幹事会・情報交換会と支部講演会・見学会を兼ねて行う予定です。さらに第 53 回化学関連支部合同九州大会は分析化学会九州支部が担当となりますので私どもでお世話させていただくことになります。7 月 2 日(土)を予定しておりますので是非ご参加をお願い致します。例年の支部活動として福岡大学理学部化学科の吉田亨次先生のお世話で 5 月 14 日(土)に分析化学若手の会 第 29 回春の講演会を、九州工業大学情報工学部の末田慎二先生のお世話で 7 月 29 日(金)～30 日(土)に日田市の天ヶ瀬温泉みるきーすぱサンビレッジにて第 34 回分析化学若手の会夏季セミナーが開催される予定です。

今年は、分析化学会九州支部 60 周年記念行事といった大きな行事がありますが、九州支部の活動が滞りなく行えるよう務めさせていただきます。何卒皆様のご支持とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(九州工業大学 竹中 繁織)



支部長退任のご挨拶

平成 27 年度九州支部長を務めさせていただきました鹿児島大学の肥後盛秀です。退任にあたり、本年度の事業報告を行い、お礼を述べさせていただきます。

5 月 30 日に九州分析化学奨励賞・分析化学会賞の選考委員会を鹿児島大学で開催し、それぞれ 3 名と 1 名の候補者を選考しました。奨励賞は本支部の活動に積極的に参加した若者が対象であり、将来の分析化学の中核となる人材を育成することを目的とします。分析化学会賞は本支部の発展に長年に亘り多大な貢献をされた 65 歳以下の方に贈呈するものです。6 月 20 日には 21 名の



出席による第 1 回の常任幹事会を九州大学伊都キャンパスにおいて開催し、その後第 64 年会のプログラムを作成しました。6 月 27 日の北九州国際会議場での第 52 回化学関連支部合同九州大会の分析化学関連部門において、1 件の依頼講演が行われ、54 件のポスター発表に対して 5 件のポスター賞を選考しました。11 月 19 日と 20 日には学会賞等候補者推薦委員会・幹事会・第 64 年会実行委員会・情報交換会と九州分析化学会賞表彰式・講演会・見学会を京セラ鹿児島国分工場とホテル京セラにおいて開催しました。29 名の出席による幹事会と実行委員会の後に宿泊を伴う情報交換会を行い、親睦を深めることができました。2 月 20 日には 18 名の出席による第 2 回の常任幹事会を鹿児島大学において開催し、執行部の引継ぎを行いました。

九州分析化学若手の会の活動として、5 月 16 日に第 28 回春の講演会を九州大学筑紫キャンパスにおいて九州大学大学院総合理工学研究院の藪下彰啓先生のお世話で開催しました。72 名の参加者による 4 件の講演であり、熱心な討論会でした。7 月 24 日～25 日には第 33 回夏季セミナーを上天草の亀屋ホテル華椿において熊本大学大学院自然科学研究科の大平慎一先生のお世話で開催しました。北海道支部との交流事業による招待講演者 1 名と学生 1 名を含む 126 名の参加者による 2 件の招待講演、九州分析化学奨励賞と支部合同九州大会のポスター賞の授賞式と受賞講演、67 件のポスター発表に対して 7 名の九州分析化学若手賞と 3 名のベスト質問賞を選考しました。大変忙しい 1 泊 2 日でしたが、参加者の親密な交流会もあり充実した催しました。

講習会として、7 月 7 日に第 1 回の機器分析ワークショップを長崎の三菱重工株式会社において、11 月 13 日に第 2 回を京セラ国分工場において、1 月 26 日に第 3 回を鹿児島大学において、ジェイ・サイエンス西日本の川上健次様のお世話で開催しました。8 月 5 日～7 日には第 56 回分析化学講習会を九州大学伊都キャンパスにおいて九州大学大学院理学研究院の横山拓史先生のお世話で開催しました。60 名の参加者による GC、HPLC、ICP-MS、X 線分析と電子顕微鏡の講義と実習であり、担当の先生方と会社の方々の熱心なご指導でした。HPLC の終了試験においては受験者 32 名全員がめでたく合格しました。

本部の行事として、9 月 9 日～11 日に参加登録者 1100 名による第 64 年会が九州大学伊都キャンパスにおいて九州大学大学院工学研究院の山田淳先生の実行委員長の下で開催され大盛会でした。

以上の通り、本年度の事業を計画通り無事に終了できましたことは、幹事の皆様を始めとして各事業をご担当下さいました皆様のお陰様であり、心からお礼を申し上げます。幹事会の開催において大きなご支援を賜りました京セラ株式会社国分工場様とホテル京セラ様にもお礼を申し上げます。九州分析化学会賞を受賞されました九州大学大学院総合理工学研究院の原田明先生と日本分析化学会奨励賞を受賞されました九州大学大学院工学研究院の石松亮一先生を始めとして、各賞を受賞されました皆様にはお喜びを申し上げ、今後の益々のご活躍をお祈りします。来年度は支部創立 60 周年の節目の年であり、記念事業が計画されています。次期支部長の九州工業大学の竹中繁織先生の下、九州支部の益々の発展を記念致します。

(鹿児島大学 肥後 盛秀)

支部活動報告

❖ 第28回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2015年5月16日（土）
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：九州大学筑紫キャンパス筑紫ホール
世話人：藪下 彰啓（九大院総理工）
*詳しくは支部ニュース第32号をご覧ください。

会場：福岡市産学連携交流センター、九州大学伊都キャンパス、
実行委員長：横山 拓史（九大院理）
*実習内容の詳細は支部ニュース第32号をご覧ください。

❖ 第52回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2015年6月27日（土）～28日（日）
共催：日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
会場：北九州国際会議場
*九州分析化学ポスター賞5件を選出しました。大会の詳細は支部ニュース第32号及びWEBサイト (<http://godo-kyushu.jp/history/godo52/index.html>) をご覧ください。

❖ 2015年度 機器分析ワークショップ ❖

主催：日本分析化学会九州支部
協賛：(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、(株)ジェイ・サイエンス西日本

● 『新技術・インハウスセミナー』
日時：2015年7月7日（火）
会場：三菱重工株式会社研究所会議室

● 『新技術・インハウスセミナー』
日時：2015年11月13日（金）
会場：京セラ株式会社社会議室

❖ 第33回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

期日：2015年7月24日（金）～25日（土）
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：亀屋ホテル華椿（熊本県上天草市）
世話人：大平 慎一（熊本大院自然）
*九州分析化学若手賞（ポスター賞）7件を選出しました。詳しくは支部ニュース第32号をご覧ください。

● 『新技術・機器分析ワークショップ2016』
日時：2016年1月26日（火）
会場：鹿児島大学産学官連携推進センター

* (株)ジェイ・サイエンス西日本の川上様のご尽力の元、九州各地で機器分析ワークショップを以上の通り開催しました。参加者へのアンケート調査の結果は、たいへん好評でした。

❖ 第56回 分析化学講習会 ❖

期日：2015年8月5日（水）～7日（金）
主催：日本分析化学会九州支部
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会

❖ 日本分析化学会第64年会 ❖

期日：2015年9月9日（水）～11日（金）
主催：日本分析化学会
会場：九州大学伊都キャンパス
実行委員長：山田 淳（九大院工）
*講演総数は724件、参加登録者数は1,110名にのぼり、例年通り大変盛会でした。詳しくは「ぶんせき」2015年12月号の実行委員長による報告をご覧ください。

❖ 2015 年度 九州支部講演会 ❖

期日：2015 年 11 月 20 日(金)

主催：日本分析化学会九州支部

会場：京セラ株式会社 鹿児島国分工場

講演：

1. 「光ビーム照射で生じる諸現象の高感度・高精度計測に基づいた分子情報の未開拓領域探索法の探求」

九州大学大学院総合理工学研究院 教授 原田 明
(2015 年度 九州分析化学会賞受賞講演)

2. 「京セラ分析センターの沿革と概要」

京セラ株式会社鹿児島国分工場分析センター
分析 1 課責任者 木下 将和

3. 「マイクロ波帯の複素誘電率・導電率評価技術」

京セラ株式会社鹿児島国分工場分析センター
分析技術開発課 平山 直樹

講演会終了後、見学会（京セラ株式会社鹿児島国分工場ファインセラミック館、分析センター）が開催されました（後述）。



原田明教授の講演の様子

❖ 2015 年度 支部見学会 ❖

2015 年 11 月 20 日（金）、京セラ株式会社鹿児島国分工場ファインセラミック館並びに分析センターの見学会が開催された。京セラ国分工場は、北に霧島連山、南に桜島を望む鹿児島県の中央部に位置する。近郊には、坂本竜馬が国内初の新婚旅行をしたことで知られている霧島温泉郷、妙見温泉郷などがあり、多くの湯治客や観光客が訪れる。同日の午前、

ファインセラミック館 2 階のプレゼンルームで行われた支部講演会終了後、昼食を挟み午後からファインセラミック館と分析センターの見学会を行った。



京セラ国分工場

ファインセラミック館 1 階の展示コーナーには、京セラ株式会社の前身である京都セラミック設立から今日に至るまでの生立ちや、各年代における主力製品群の紹介、ファインセラミック技術の発展過程や最先端技術が展示公開されている。また 2 階には、創業者である稲盛和夫（名誉会長）の企業哲学が生まれるまでの歴史やその内容が公開されている。

分析センターは、セラミック材料の研究機関である総合研究所(1979 年 10 月設立)に隣接しており、1987 年 2 月に設立された。分析センターの主な活動内容は、工場で製造される製品の原材料の受入れや製造工程で生じた不具合の原因究明のための分析、または、研究開発に関連した分析を行うことである。見学コースとなる研究棟 1 階の実験室に設置された ICP-MS、XPS、ToF-SIMS、NMR 等を窓越しにご覧いただきながら、当分析センターで行っている無機、有機、構造、表面分析や電気特性、物性評価、信頼性評価などの特性評価について、セラミック材料を主とした分析例用いてパネルで紹介した。

見学会終了後、肥後九州支部長が挨拶をされ、ファインセラミック館前にて参加者全員で記念撮影を行い、無事見学会を終了した。最後に、ご参加いただいた方々にこの紙面をお借りして心より御礼申し上げます。

(京セラ株式会社鹿児島国分工場分析センター

木下 将和)



京セラ株式会社鹿児島国分工場の見学会を終えての記念写真

❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2015年5月30日（土）

会場：鹿児島大学郡元キャンパス 工学部応用化学工
学科第2棟2階会議室

*2015年度九州分析化学会賞受賞者1名、九州分
析化学奨励賞受賞者3名については、支部ニュース
第32号をご覧ください。

● 2015年度第1回常任幹事会

期日：2015年6月20日（土）

会場：九州大学伊都キャンパス センター2号館1階
2107号室

● 学会賞等候補者推薦委員会

期日：2015年11月19日（木）

会場：京セラ鹿児島国分工場 ファインセラミック館
2階プレゼンルーム

● 2015年度幹事会

期日：2015年11月19日（木）

会場：京セラ鹿児島国分工場 ファインセラミック館
2階プレゼンルーム

● 2015年度第2回常任幹事会

期日：2016年2月20日（土）

会場：鹿児島大学郡元キャンパス 工学部応用化学工
学科第2棟2階42号教室

本部関連

❖ 第76回 分析化学討論会 ❖

期日：2016年5月28日（土）～29日（日）
会場：岐阜薬科大学・岐阜大学（岐阜県岐阜市）
討論主題：

1. 2030年の分析化学
2. 分析化学を支える「マイクロ・ナノ」
～「マイクロ・ナノ」を基盤技術とした分析化学
の新潮流と将来展望～
3. 柔軟な界面を利用した分析化学
4. マススペクトロメトリー分析化学の新潮流
5. ノンコーディング RNA の最先端分析手法にせまる
6. 今、そして将来必要とされる環境分析化学とは？：無機及び有機分析の観点から
7. 医療貢献を目指した分析化学
8. 分離手法と分離対象の拡張
9. 分析化学と犯罪捜査
10. 化学センサーの新展開
11. 前処理とフローアナリシス

実行委員長：宇野 文二（岐阜薬科大学）
*詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。
<http://conference.wdc-jp.com/jsac/touron/76/>

❖ 日本分析化学会 第65年会 ❖

期日：2016年9月14日（水）～16日（金）
会場：北海道大学工学部（札幌市）
講演申込締切 6月上旬
要旨本文締切 7月上旬
実行委員長：田中 俊逸（北大院地球環境）
*詳細は以下のWEBサイト並びに「ぶんせき」誌
を御覧下さい。 <http://www.jsac.or.jp/65nenkai/>

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical

Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 2016年度 支部からの役員 ❖

理事：原田 明（九州大院総理工）
代議員：横山 拓史（九大院理）、山口 敏男（福岡大理）、今坂 藤太郎（九大院工）、中野 幸二（九大院工）、井原 敏博（熊本大院自然科学）、下田 満哉（九大院農）、浜瀬 健司（九大院薬）、梶島 力（長崎大院医歯薬）、澤津橋 徹哉（三菱重工業（株））
編集委員：

「ぶんせき」富安 卓滋（鹿児島大院理）
「分析化学」原田 雅章（福岡教育大）
「Analytical Sciences」宗 伸明（佐賀大院農）

❖ 入会を歓迎します ❖

日本分析化学会の正会員と学生会員の合計は2016年1月時点で5000人を切っており、年々減少の傾向にあります。あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

● 第29回 九州分析化学若手の会 春の講演会

期日：2016年5月14日（土）13:30～

会場：福岡大学 中央図書館多目的ホール（福岡市）

講演：

- ・光ピンセットで雲をつかむ
(広島大院理) 石坂 昌司
- ・液体の統計力学理論による溶液内化学・生物過程の解析
(九大院理) 吉田 紀生
- ・こんなことがわかる！X線回折分析～最新機器の紹介からアプリケーション例まで～
(株式会社リガク) 森川 千晶
- ・イオン液体と分子性液体の混合状態と遷移金属イオンの錯形成平衡に対するその効果
(佐賀大院工) 高椋 利幸

世話人：吉田 亨次（福大理）

● 第53回 化学関連支部合同九州大会

期日：2016年7月2日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3月1日（火）～31日（木）

予稿原稿締切：5月13日（金）

発表形式：特別講演（1件）、依頼講演（8件）、一般講演（ポスター発表のみ）

支部推薦依頼講演：

- ・非二重らせん核酸が生み出す新しい生命化学
(甲南大学) 杉本 直己

代表世話人：竹中 繁織

(九工大院工、日本分析化学会)

*詳細は下記WEBサイトをご覧ください。

<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

● 第34回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー

期日：2016年7月29日（金）～30日（土）

会場：天ヶ瀬温泉 みるきーすばサンビレッジ

(大分県日田市天瀬町赤岩 108-1, 0973-57-3461)

内容：

- ・九州分析化学若手の会総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

・依頼講演（3件）

エルガ・ラボワーター 黒木 祥文 先生

鹿児島大学 満塩 勝 先生

長崎大学 岸川 直哉 先生

・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）

・一般ポスター発表

・懇親会

参加費：一般 ¥9,000、会員学生 ¥8,500、非会員学生 ¥9,000（予定）

世話人：末田 慎二（九工大院情報工）

● 日本分析化学会九州支部創立60周年記念会

期日：2016年11月18日（金）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

内容：

・講演（5件程度、九州分析化学会賞受賞講演含む）

・懇親会（ステーションホテル小倉）

*11月19日（土）に見学会を実施する予定です。

❖ 2016年度 支部執行部・役員 ❖

● 執行部

支部長：竹中 繁織（九工大院工）

次期支部長：戸田 敬（熊本大院自然科学）

副支部長：王子田 彰夫（九大院薬）

監査：肥後 盛秀（鹿児島大院工）

木下 将和（京セラ株式会社）

庶務幹事：佐藤 しのぶ（九工大院工）

会計幹事：末田 慎二（九工大院情報工）

● 常任幹事（13名）

(九工大・福教大) 原田 雅章（福教大）

(九大院工) 森 健（九大院工）

(九大院理) 岡上 吉広（九大院理）

(九大院薬・第一薬大) 浜瀬 健司（九大院薬）

(九大院農・九産大) 井倉 則之（九大院農）

(九大筑紫・近大産理工) 河津 博文（近大産理工）

(福岡大) 塩路 幸生（福大理）

(佐賀) 松田 直樹（産総研）

(長崎・熊本) 黒田 直敬(長崎大院医歯薬)
(長崎・熊本) 井原 敏博(熊本大院自然科学)
(大分・宮崎) 井上 高教(大分大院工)
(鹿児島・沖縄) 神埼 亮(鹿児島大院理)
(企業・官公庁)
川上 健次((株)ジェイ・サイエンス西日本)

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定(抜粋)

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書(指定用紙)、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文(図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文可)の正本1部、写し9部(計10部)を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定(抜粋)

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)に在籍する場合においては満35歳未満の者。非会員は受賞時までに日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書(指定用紙)、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及

び論文等の別刷りの一部(複数可)、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文(A4紙2枚、英文可)及び図表等(5枚程度)の正本1部、写し8部(計9部)を指定期日(受付期間：4月1日～4月30日)までに支部長に送付。

※募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

“4月”の声もそこに聞こえ、皆様も年度別の雑務にご多忙の事と拝察申し上げます。

大分大学の井上先生から訳もわからぬまま引き継ぎ、1つ1つ勉強しながら何とか一年間務めさせて頂きました。これもひとえに肥後支部長を始めとする事務局の皆様のお力添えがあったからと改めて感謝しているところです。

2016年度は大学側副支部長を九州大学大学院薬学研究院の王子田先生にバトンタッチ致します。竹中次期支部長、王子田次期副支部長のもと、九州支部が更に発展をしていくことを祈念しております。

皆様には一年間の御支援に感謝いたしますとともに、次年度も日本分析化学会九州支部への一層の御指導、御支援をお願い申し上げます。

(副支部長 財津 慎一)



2015 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40
鹿児島大学大学院 理工学研究科 化学生命・化学工学専攻

支部長	肥後 盛秀（鹿児島大学大学院理工学研究科） higo@apc.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8340/8342
副支部長	財津 慎一（九州大学大学院工学研究院） s-zaitu@cstf.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2884
副支部長	木下 将和（京セラ株式会社鹿児島国分工場） masakazu.kinoshita.zs@kyocera.jp / 0995-46-8719
庶務幹事	満塩 勝（鹿児島大学大学院理工学研究科） mitsushio@cb.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8342
会計幹事	中島 常憲（鹿児島大学大学院理工学研究科） tsune@apc.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8337/8339